



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yasuo Ueno 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cyo, Ashiya, Hyogo, Japan

Mail : uenoashiya@kdb.biglobe.ne.jp Tel. 0797-32-9360

URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 Joan Wilson
「私たちの未来は、今日から始まる」"Our Future Begins Today"
アジア地域会長 Tung Ming Hsiao
「ワイズ運動を尊重しよう」 "Respect Y's Movement"
西日本区理事 岩本 悟(熊本西クラブ)
「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を」
"Energizing Y'Men' Clubs with the Y's spirit!"
六甲部部長 長井慎吾(西宮クラブ)
「楽しい交流と、やりがいのある奉仕活動で更なるクラブ
活性化を図ろう」
芦屋クラブ会長 上野恭男
「ワイズの原点に戻ろう」

今月の聖句

また、船を御覧なさい。あのように大きくて、強風に吹きまわ
れている船も舵取りは、ごく小さい舵で意のままに操ります。同
じように、舌は小さな器官ですが、大言壮語するのです・・・
ヤコブの手紙 3:4-5

5月第1例会

と き: 2017年5月17(水) 19:00~21:00

ところ: ホテル竹園芦屋 3F宴会場

司会: 坂東幸子ワイズ

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 開会点鐘 | 上野恭男会長 |
| 2. クラブソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖書朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 司会 |
| 5. 食前感謝 | 権 甲植ワイズ |
| 6. 会食・懇談 | |
| 7. ゲストスピーカー | 山田滋己ワイズ |
| 「海と船のお話し」 | |
| 8. 第2例会議事録の承認 | 上野恭男会長 |
| 各事業委員の報告 | 事業委員 |
| 9. YMCA報告 | 柳原謙介連絡主事 |
| 10. ニコニコ献金報告 | 島田恒ファンド委員 |
| 11. 誕生日祝い | 上野恭男会長 |
| 権 甲植、渡辺倫子(各ワイズ) | |
| 12. 閉会点鐘 | 上野恭男会長 |

会 長 上野恭男
直前会長 五十嵐政二
副 会 長 柏原佳子・福原吉孝
書 記 柏原佳子・島田 恒
会 計 羽太英樹
監 事 田舎庸男
連絡主事 柳原謙介
六甲部交流主査補佐 五十嵐政二

5

May, 2017
240号

LTってなに？



上野恭男
リーダーシップ無くしてリーダーに非ず！と
舟木順司リーダーシップ開発委員長は
声を大にして言います。
クラブ、部、区、あらゆる機会に学び、リ
ーダーシップを身に着けるようにしようと
結んでいます。

ワイズメンズクラブに入会すれば、事業委
員として活動しますが、その際リーダーシップを持つと持たない
とでは結果に大きな違いが生じます。早くできるのではなく、皆
をやる気にさせ、その結果大きな満足感を持って事業を終え
ることが出来ます。

自分は非力で何事にも人に先んじることが出来ない、と思っ
ているあなた。トレーニングすることにより、大きな自信を持つリ
ーダーに変わることが出来るのです。

率先して人の先に立ちましょう。これはいいなと思ったら実行
しましょう。YMCAのユースはなぜひリーダーシップを持っているの
でしょうか。少年少女を若くして預かり、キャンプや野外活動に
模範を示し、彼らを導いていきます。そこにリーダーシップが生
まれてきます。ワイズメンズクラブでもそうなのです。年齢に関
係なく役職を無理なく果たしていくことが出来ます。皆さんのや
る気を期待しています。

4月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 累計 gm
メンバー	13名	出席者	13名	
ビジター	1名	メイクアップ	3名	ニコニコ 4月 12,828 円 累計 148,142 円
ゲスト	5名	合 計	16名	
メネット	1名	在籍者	18名	
コメット		(内広義会員1名)		
合 計	20名	出席率	94.1%	

4月第1例会報告

日 時： 2017年4月19日(水)18:00～21:00

場 所： ホテル竹園芦屋 (敬称略)

出席者： 上野会長、五十嵐・柏原・桑野・権・篠坂・島田・堤・中山・羽太・坂東・福原(各ワイズ)、柳原連絡主事、五十嵐メネット

ビジター： 野呂 隆(EMC主査・神戸学園都市)

ゲスト： 春木浩子(ゲストスピーカー)、菅原 進、長竹孝夫渡部徹也(島田ワイズ友人)、吉原幸代(さくら祭り)

4月例会では久しぶりに新入会を歓迎する例会となった。入会された中山豊美さんは岩園町在住。中学時代からYMCA余島キャンプに参加され、キャンプ場を開かれた今井先生(後の神戸 YMCA 総主事)から大きな影響を受けられ、生涯余島と離れがたい経験をされた方である。現在も震災地の子供たちをキャンプに招待できるよう「よしましよ」を立ち上げ、支援を続けておられる。



上野会長による入会式(参加くださった野呂 EMC 主査に感謝)、賑やかな会食の後、本日のゲスト春木浩子さんによるハープの演奏。

2種のハープを

持ち込んでいただき詳しく説明をいただいた。大きな方のハープは180cmもあると聞いてびっくり。引き込まれる演奏が始まり、アメージング・グレースなど親しみのある曲の数々に全員が聞き入った。演奏が終わり、質問の雰囲気も十分察せられたが、伝統のテイクコ主義を守るため残念ながらのパスとなってしまった。

第二例会議事報告と承認、今後の関連予定が報告された。さくら祭りは、桜はまだ硬めのつぼみであったが来場者は多く、チヂミ・綿菓子にワインを加えた出店は盛況であり、初めて揃いのジャンパーでチームワークを発揮して応対、収益のみならず豊かな交流に成果を上げた。YMCA 報告では新会館完成に関わる様々な行事がアナウンスされた。神戸 YMCA の年間聖句「あなたの未来には希望がある」に倣い、会館のみならず活動も希望ある未来を開いていくことが期待された。

島田 恒

芦屋クラブの入会式に出席して

EMC事業主査 野呂 隆

芦屋クラブで4月に入会式が行われ、お招きを受けてJR芦屋駅前のホテルを訪れました。

会場に入ると10名位が座れる大きな円形テーブルが3卓並んでおり、壇の上に大きなハープが置かれていました。式は開会点鐘、ワイズソング斉唱、食前感謝などが厳かに進められて、上野会長さんの「入会式辞」の朗読と中山豊美さんの入会宣誓があり、「会員証」の授与などが行われました。

六甲部の各クラブではEMC活動に特に力をいれていただいておりますので、どんな動機で入会されたのかなど、関心を持っておりました。今回の中山さんは中学時代から余島キャンプに参加し、2012年には余島キャンプを応援する「よしましよ」を立ち上げて、爾来代表を務めておられるとのこと、YMCAやワイズとは大変繋がりが深い経歴をお持ちでした。

入会式のあとはディナーをいただきながらしばし自由に談笑を楽しみ、穏やかなひとときを過ごしました。上野会長さんは例会をいつもホテルで行うようにして、会員のみなさんとお互いに心の触れ合いができることを、特に大事にしていると話しておられました。

アトラクションとして、日本ハープ協会会員の方のハープ演奏があり、心地よい音色で会場が包まれました。枯葉、里の秋、さくらさくら、などの童謡がメドレーで演奏されたときは、なつかしくなって静かに聴き入りました。

芦屋クラブでは例会でイベントを積極的に行って、EMC活動に繋がれるように努力されておられますので、今後、更に成果が生まれることを期待致しております。



芦屋川さくら祭り

今年も恒例の【芦屋川さくら祭り】が4月1日～2日に開催され芦屋クラブも例年通り出店。天候には恵まれたが残念ながら桜の開花が遅れ、チラホラまでも行かない有様。早朝より設営に伴う器具・食材料運搬に上野会長他数名のメンバーの方々に何時もの事ながらのご尽力に助けられ滞りなくスタートがきられた。今年は名物【チヂミ】【綿菓子】に加え【赤のグラスワイン】が登場しコーナーも充実をはかる。又、本年より芦屋クラブの【ユニフォーム】が生まれ、男女ともメンバー全員がライトブルー(YMCA マーク・のぼり旗・及びテントのストライプにも使われているカラー)のウインドブレーカーを着用しその意気込み、コーナー全体のムードも他のグループを圧倒。



【YMCAと共に！】の旗を添え、一般の来場者にも芦屋クラブを少しはアピールできたのではなかろうか。2日とも天候が幸いし初日から来場者も多くチヂミ、ワイン、綿菓子ともに出足好調。【チヂミ担当】グループはいずれも経験豊かなベテラン揃いで大奮闘。会長以下他の男性陣は慣れないグラスを片手に「ワインは如何～！」と【グラスワイン担当】。女性陣はオーダー受け・レジ・下ごしらえ等の作業で大忙し。そして【YMCA】からの心強い応援では柳原連絡主事のもと女子3名男子2名の学生達が元気よく【綿菓子全般の担当】でお子さん連れ相手に大ハッスル。チヂミ同様に順番待ちの行列が……。大きな綿菓子を小さな手に笑顔がいっぱいでした。2日間通じての成果も全員の努力により達成でき YMCA 活動・地域奉仕他に貢献出来たこと喜ばしく。ご苦労様でした！又、他クラブのワイズの方々の訪問も次々と大変多くあった事も嬉しく。【じつに清々しいメンバーシップの風景にうつりしたのは私だけではなかったのでは。我がクラブ 20 周年を迎えるにあたり何かしら、ふと……。】

篠坂幸彦

中高生のボランティア体験

毎年、ユースプラザ KOBE・EAST に集う中高生を受け入れてくださり心より感謝いたします。今年は、あわせて5名の中高生・YMCA スタッフが参加させていただきました。

例年になく、つぼみのままの桜と、肌寒い気候で一抹の不安がありましたが、参加した中高生の活躍もあり、無事に2日間を終えることができました。ありがとうございました。

中高生の中には、ボランティアについて課題研究をしている生徒もいました。ワイズメンズクラブの皆さんの活動に興味津々。実際にともに活動することでその意義や気持ちを感じ取ることができたのではないかと思います。本人たちは、「ボランティアは、実際に困っている人を助けたり、そのような場所に行き行う無償の活動のことをさすと思っていたけど、いろんな形があるのだと気づきました。」と。活動の意味を理解することで、大きな声を出して綿菓子やチヂミを売ることさらに力を入ることができました。

ユースプラザ KOBE・EAST では、様々な機会に中高生ボランティアを募集して活動を行っています。それぞれ興味を持つ視点は違いますが、今回のように新しいボランティア活動の発見をしてくれる生徒たちもいます。学校だけでなく、地域や世界に目を向けるよい機会がこのさくらまつりであると同時に、ワイズメンズクラブの皆様との交流もかけがえのない体験になっていると実感しました。このようなボランティア活動を通して視野を拡げ、多様化する社会の中で活躍できるように成長してくれればと願っています。

ユースプラザ KOBE・EAST 柳原 謙介



トピックス

序文： 島津由起子さんは柏原佳子ワイズのコメントです。
7歳でスケートを始めて、国体、全日本大会、世界ジュニアなどの競技会で数々の優勝や入賞を果たし、オリンピック候補選手でもありました。
ところが、19歳で突然スケート界から引退し惜しまれた方です。 上野記

テレビ番組に出演しました

「6チャンネル 水曜19時ゴールデン“あいつ今何してる”制作スタッフ飯山です。」この電話からすべてが始まりました。八木沼純子さんの指名とのことでした。息子たちの「やってみたら・・・」という言葉でお話を受けることにしました。

私は19歳でフィギュアスケート界を引退しました。この競技は家族の協力と特に母親とは二人三脚で歩むスポーツです。賞状、メダル、衣装、私のスケートへの想い全てを母はあの日から大切に預かっていてくれました。

4ヶ所でロケを行いました。最初のロケは母の家で母と一緒に出たいと思いました。(母に大切な会合をキャンセルさせてしまい申し訳ありませんでした)

二番目のロケはホテル竹園の会議室でした。私がスケートを始めてから現在に至るまでについて同じような質問が繰り返されカメラは回り続けました。テレビで流したくない情報は発言しないこと、と元読売テレビにお勤めの上野氏からのアドバイスを念頭に自分の半生を振り返りました。

三番目のロケは甲南女子大学生協で行なわれました。自宅から徒歩10分の立地のこの職場が今の私の大切な生活の一部です。番組冒頭の出会いのシーンに使われました。

「26年ぶりに滑ってみませんか。」スタッフの方から突然の提案がありました。滑ってみたい、素直にそう思いました。26年近づくかなかったスケートリンクが最後のロケ地になりました。氷に立っていることが嬉しくて楽しくて心弾みました。

番組のスタジオ収録後、どうしても話したくなった、と八木沼さんから電話をもらいました。彼女のお陰で、パンドラの箱は開き、そこには清々しい気持ちだけが残っていました。心から感謝を伝えました。限られた時間の中で私の過去に寄り添い誠実に番組をつくってくださった制作スタッフの方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。私は本当の意味でスケートを引退することができました。母もこの長い静かなスケートとの闘いを終えられたのではないのでしょうか。

夢のような本当のお話を最後まで読んでいただいていたありがとうございます。

島津由起子

2016-17六甲部第2回評議会

年度終盤となった4月15日、賀川記念館において六甲部今年度第2回評議会が開催された。芦屋クラブからは、上野、柏原、篠坂、島田、福原、各ワイズと羽太の6名が出席した。長井慎吾六甲部長による開会点鐘で始まり、ワイズソング、開会祈祷、挨拶などオープニングセレモニーを経て、まず各中間報告が行われた。長井六甲部長の中間総括では「楽しい交流と、やりがいのある奉仕活動で更なるクラブ活性化を図ろう」との今期部長主題に沿って、各クラブを積極的に訪問して交流し、その活性化への道を探りながら進んでいるとの報告があった。続いて会計中間報告、事業主査(Yサ・ユース事業、地域奉仕・環境事業、EMC事業、国際・交流事業、メネット事業、広報委員会)活動中間報告が行われた。そして報告の最後は六甲部8クラブの会長中間報告である。各クラブの活動にはそれぞれ魅力ある個性も感じられ参考になったが、メンバー減少で苦勞されている様子も伝わって来た報告もあった。以上の報告は承認され、審議事項に移った。①2017/18年度部長の輪番変更に伴う主査の輪番変更を役員会案通り承認、②2018/19年度部長を輪番となる神戸西クラブの大田厚三郎ワイズが推薦され、承認、③第21回西日本区大会実行委員会への活動資金の一時貸付が提案され、承認。最後にその他報告と意見交換が行われ、閉会点鐘をもって第1部の評議会は終了した。

第2部は懇親会。大相撲大阪場所と同じという豪華弁当(?)とアルコールで話も弾んで最後は新しい神戸YMCA会館にエールを込めて「♪♪百年の歴史をつづる、永久の望みに燃えて栄あれYMCA♪♪」とYMCAの歌を歌ってお開きに・・・

羽太英樹



スピーカープロフィール

山田滋己ワイズ(神戸ポートクラブ)
神戸商船大学卒、川崎重工業在職
2017 年度西日本区理事事務局長

4月第2例会議事録

日時: 4月26日(水)18:00~18:30 プリテン編集委員会
18:30~20:00 第2例会

場所: 市民ホール 204号室 (敬称略)
出席者: 上野会長、五十嵐・桑野・島田・篠坂・羽太・柏原(各ワイズ)、柳原連絡主事

◇第1例会の予定

・6月21日(水) 弁護士の事件簿(仮名)

野口善国ワイズ(神戸西クラブ)

・7月19日(水) キックオフ例会

部長公式訪問 役員交代式 入会式

◇3月度会計報告・さくら祭り報告ともに承認

◇20周年記念例会実行員会を発足。

五十嵐、上野、柏原、桑野、篠坂、島田、羽太、福原、柳原の各ワイズ

◇西日本区大会実行委員会報告(毎月第4月曜日)

羽太(会計)桑野(区会計)柏原(実行委員)が出席する。

◇鎌倉クラブ25周年、第2回評議会報告

◇西日本区大会でDBC交流会を持つように交渉中

◇メネット会「輪っか支援映画試写会」5月13日(土)

事前にDVDを観る。メネットの出席者を決める

◇入会者のオリエンテーションを5月例会前に持つ

★ 第3例会 「ひろ」

20周年に向かって大いに盛り上がり各自の個性がキラキラ輝きました

今後の予定

・六甲部準備役員会 5月30日(火) 神戸YMCA

・チャリティーゴルフコンペ 5月31日(水) 千刈CGC

・西日本区大会(熊本)

6月9日(金) チャリティーゴルフコンペ(熊本空港CC)
前夜祭(菊池温泉ホテル笹乃家)

6月10日(土)西日本区大会(菊池市文化会館)
懇親会(ホテル日航熊本)

6月11日(日)大会2日目(ホテル日航熊本)

YMCAニュース

◇イースター

4月17日(日)に、神戸市中央区東遊園地にて、神戸YMCA・YWCA イースター早天礼拝を守ることができました。146名の参加者が与えられ、主の復活をお祝いすることができました。礼拝では、日本基督教団神戸栄光教会の榮伝道師より「死を超えて」と題したメッセージがあり、苦しみのレントを超えることで、イエスさまの味わった苦しみを体験する大切さ、そして死を超えてこそ復活に大きな意味が与えられるというお話を頂き、皆で分かち合いました。

◇2017年度スタート 4月になり、あらたな仲間や子どもたちを与えられ、2017年度がスタートしました。今年度も、どうぞご理解と、ご支援を賜りますようよろしくお願いします。

第8回 キリスト教講座「申命記」

いよいよモーセ五書と呼ばれている最後の書簡「申命記」です。申命記とは「申し命ずる」とありますから、読んで字の通りだろうと、掟を告げる書くらいに思っている人が多いのではないのでしょうか。しかし、「申命」とは、中国語の元々の意味では「再び命じる」、あるいは「改めて命じる」という意味のようです。ヘブライ語では「これが(モーセが語った)言葉である」という初めの言葉から「言葉(デバリーム)が書名になっています。ここで言う「言葉」とはモーセが死ぬ前にイスラエルの人たちに語った一連の演説のことです。「申命記」という名前はギリシャ語原文の「デウトロノミオン」(2回目の掟)からきており、それは旧約聖書の中でも重要な位置を占めているのです。つまり律法すなわちトーラーと呼ばれる最初の五つの書の最後を締めくくる書物として、それを改めて整理して確認する、と云うのが申命記の位置づけです。神様はイスラエルの民をエジプトの奴隷状態から救い出し、シナイ山での律法を与え、律法によって生きるように命じました。申命記ではモーセがこの過去のことを振り返り、神様が既に民を救ったことを強調しています。同時にモーセの言葉には将来の世代を思い、彼らに律法を教えるという決意が見られます。申命記における神と人々との契約は、その後に展開されるイスラエルの歴史の基礎となり、それを準備するものとなっています。イスラエルの人たちが「約束の地」カナンに入る直前に、モーセが最後に語った「告別説教」の形式をとっていますが、申命記は旧約聖書の中でも重要な位置を占める書簡なのです。関西弁でいえば「最後に言うときまっせ、何回でも言うけど、これがいっちゃん大事な神さんの法律でっせ！」になるかも、、、です。

権 甲植 (続く)

~

◇YMCAの今後の予定

・三宮会館 オープンハウス Day

日 時: 5月13日(土)15:00~16:00

場 所: 神戸 YMCA 三宮会館(神戸市中央区加納町)

内 容: 新会館の見学を含め、YMCA のプログラムを各教室で紹介しております。

・神戸 YMCA 創立記念礼拝

日 時: 5月8日(月) 18:30~20:00

場 所: 神戸 YMCA 三宮会館チャペル

メッセージ: 「結ぶ使命」~カラテヤの信徒の手紙 3:26-28

棟方信彦先生(頌栄保育学院院長・頌栄短期大学学長)

編集後記:



◇芦屋川の桜はチラホラとも咲いてなくて残念でした。写真は我が家のベランダの八重桜です。

◇20周年記念例会実行委員会も発足、充実した芦屋クラブの姿を披露できるよう準備万端怠りなく頑張ります。桑野友子